

令和7年度 第3回福智町地域公共交通会議

日時：令和8年3月18日(水)10時00分～

場所：福智町役場3階 301会議室

1 開会

2 議題

報告事項

(1) ふく～るバス運行実績 . . .【資料1】

(2) 各種アンケート調査による計画達成状況報告 . . .【資料2】

協議事項

(1) 令和8年度実施事業計画(案)について・令和8年度予算(案)について
. . .【資料3-1・資料3-2】

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請書(案)について
. . .【資料4】

(3) ふく～るバス ミーティングポイント(MTP)追加要望の審議について
. . .【資料5】

その他

【配布資料】

- ・令和7年度 第3回福智町地域公共交通会議次第、構成員名簿
- ・座席表
- ・資料1：ふく～るバス実績報告
- ・資料2：各種アンケート調査による計画達成状況報告
- ・資料3：令和8年度予算(案)・令和8年度実施事業計画(案)について
- ・資料4：地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請書(案)について
- ・資料5：ふく～るバス ミーティングポイント(MTP)追加要望の審議について
- ・(別紙) 各種アンケート調査結果

「ふく～るバス」運行実績

1. 運行概要

運行概要	
運行期間	第一期: 令和 5 年 1 月 10 日(火)～3 月 31 日(金) 第二期: 令和 5 年 4 月 1 日(土)～9 月 30 日(土) 本格運行: 令和 5 年 10 月 1 日(日)～
運行方式	第一期および第二期: 無償による事前予約型エリア運行 本格運行: 自家用有償旅客運送
運行時間帯	8:30～17:00
使用車両	第一期および第二期: 3 台体制→5 台体制 本格運行: 5 台体制→6 台体制(令和 6 年 8 月より 6 号車が不定期運行)
予約方法	電話・web・LINE 連携アプリ
AI システム	未来シェア: SAVS(Smart Access Vehicle Service)
運行エリア	町内全域
現行福祉バス	第一期: 循環線コースを除く 4 コースは実証運行期間中も従来通り運行 第二期: 7 月 20 日(木)から福祉バス全便運休 本格運行: 福祉バス全便運休
乗降箇所	ミーティングポイント方式(福祉バスの既設乗り場及び追加乗り場)
運行日	毎日運行(年末年始、GW、お盆は運休)
運行経路・時間	予約状況に応じて、AI による最適化ルートで運行
運行者	福智町社会福祉協議会



運行車両



予約受付オペレーター



新規乗場表示の設置



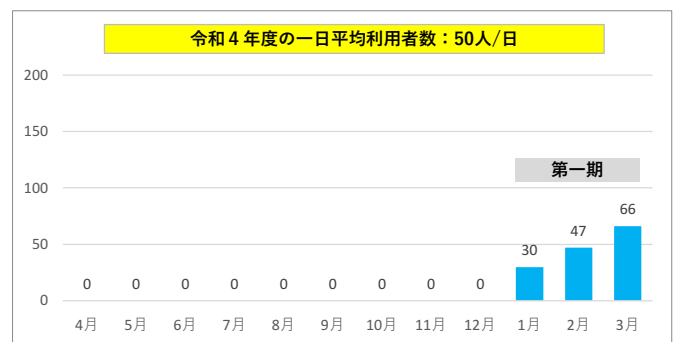
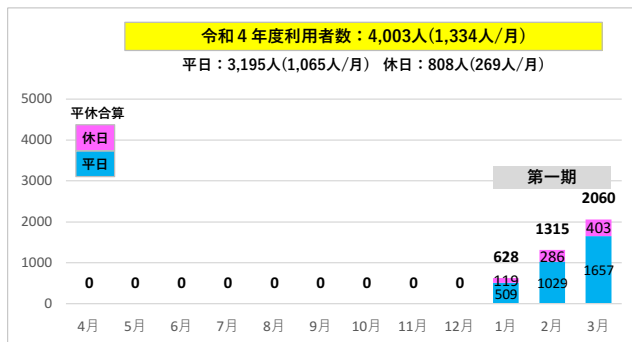
既存表示板の更新

2. 実証運行利用状況 [集計期間]令和5年1月10日(火)～令和8年2月28日(土):運行日数 1103 日間

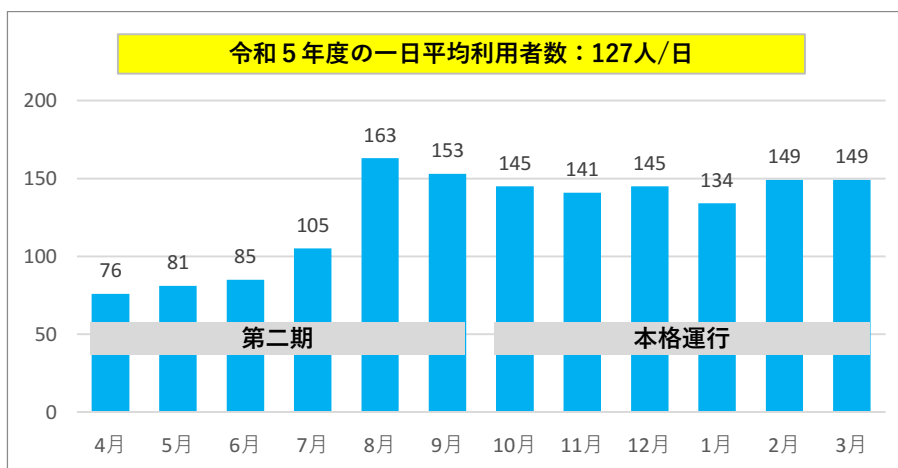
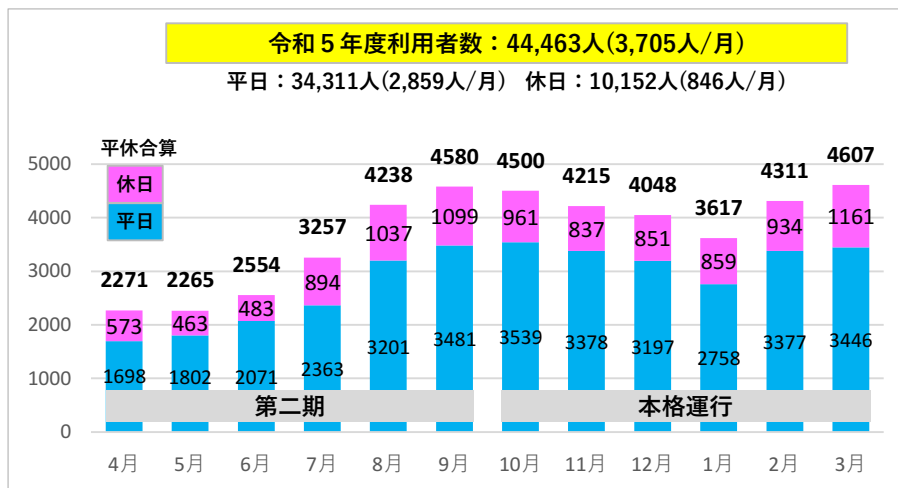
(1)ふく～るバス月別利用者数

- 令和5年1月10日～令和8年2月28日までの約3年2カ月で、総利用者数は160,666人(1ヶ月平均4,228人、一日平均146人)である。令和5年10月1日からの本格運行(有償化)移行に伴い、若干減少傾向にあったが、令和6年2月以降は増加傾向に転じている。
- 1カ月当たりの利用者数は、お盆や年末年始の運休により減少する月も見られるが、令和7年4月以降5,000人前後で推移している。
- 1日あたりの利用者数は、令和7年度以降概ね170人前後で推移しており、最大平均値は令和7年度12月の193人である。

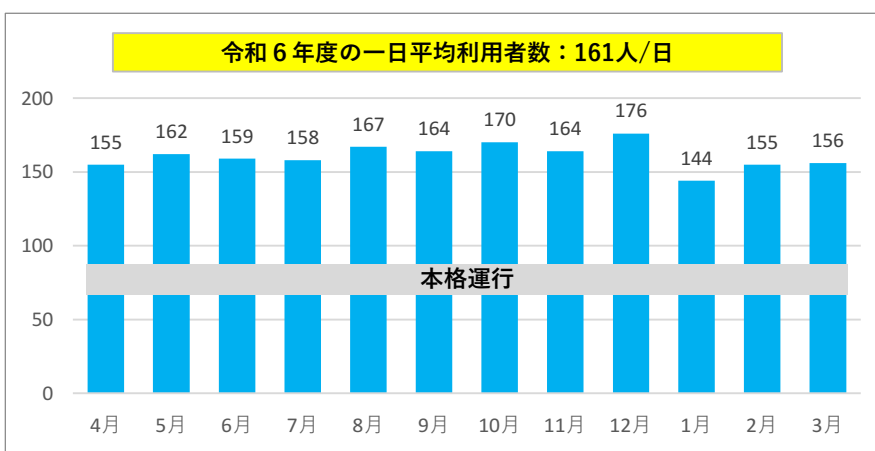
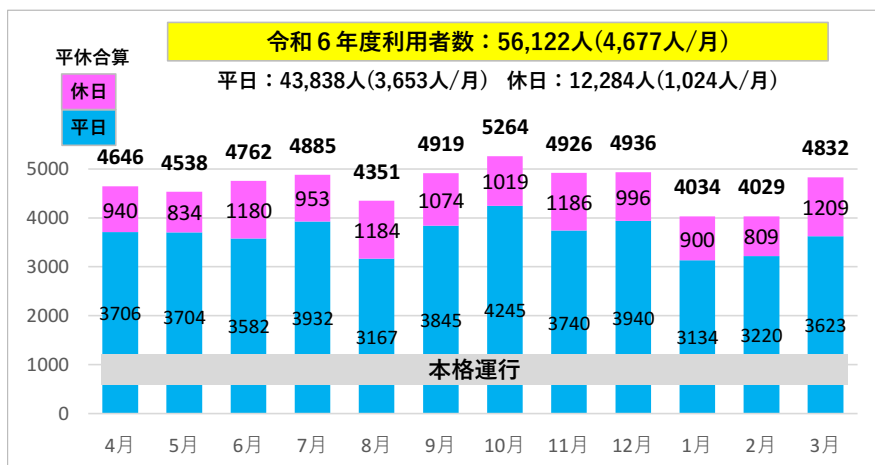
令和4年度[令和5年1月～令和5年3月]



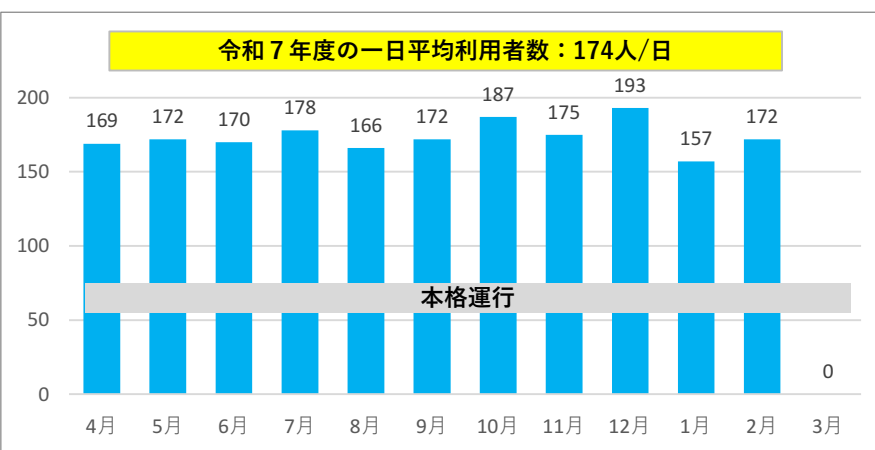
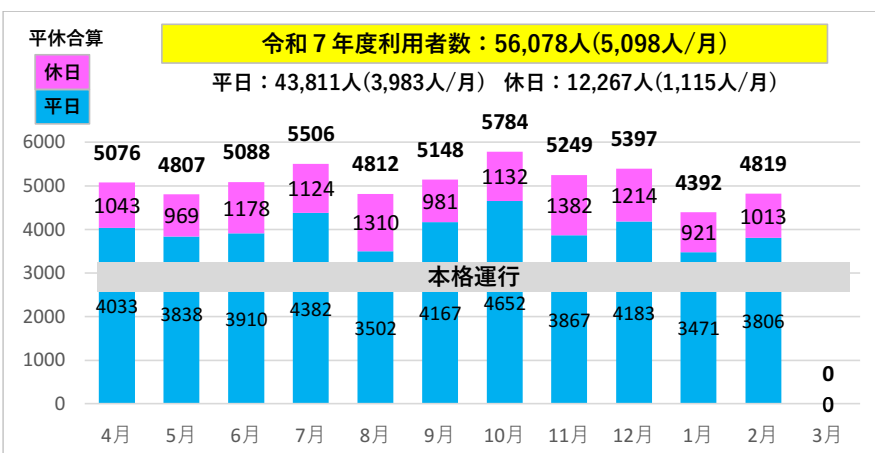
令和5年度[令和5年4月～令和6年3月]



令和6年度[令和6年4月～令和7年3月]

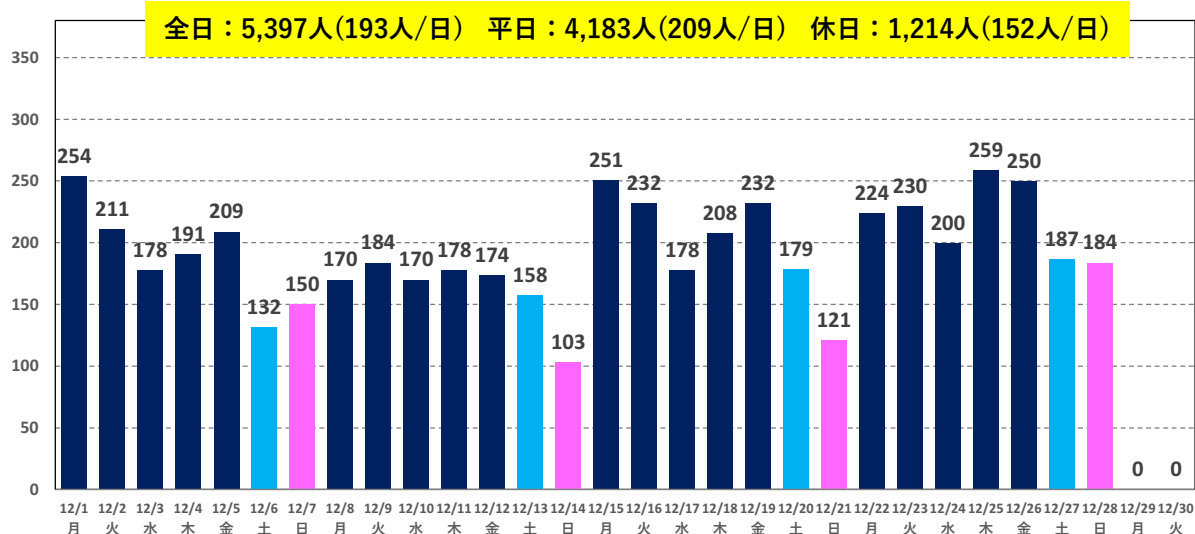


令和7年度[令和7年4月～令和8年2月]

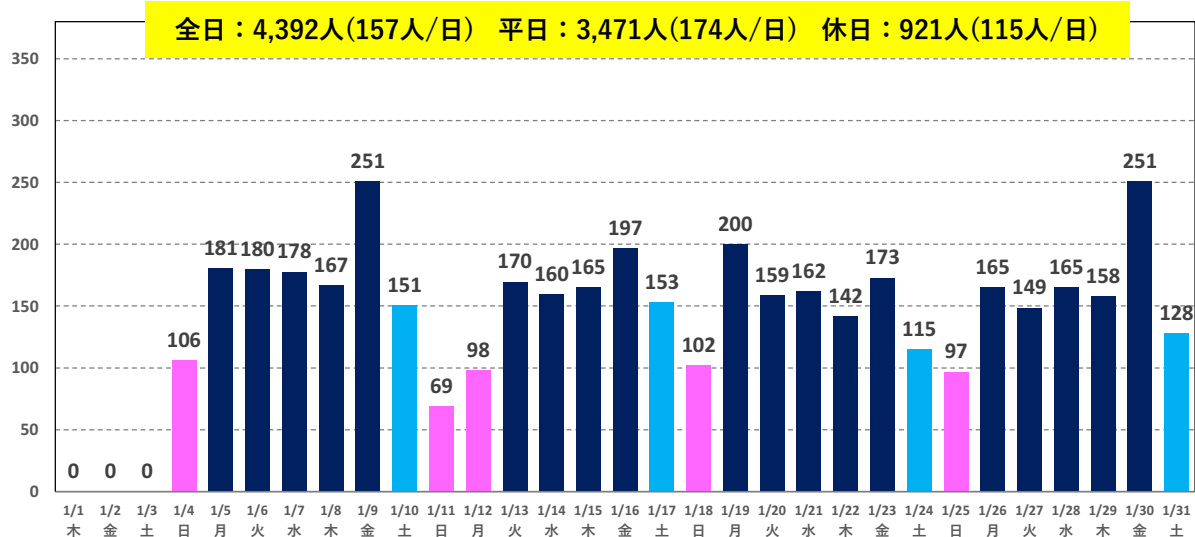


(2)ふく～るバス日別利用者数(直近3カ月)

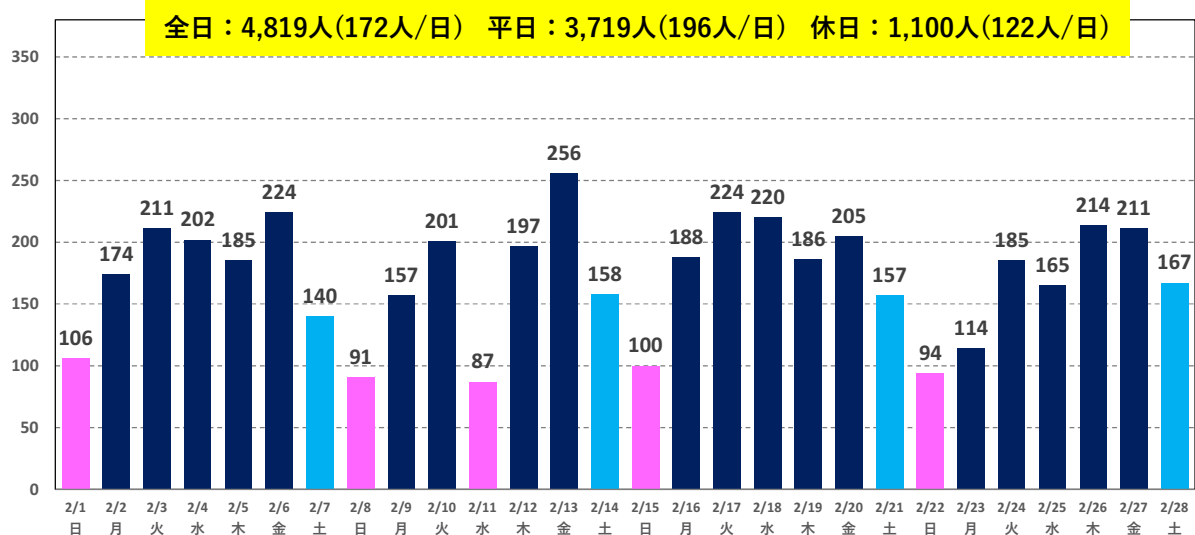
令和7年12月：ふく～るバス利用者数



令和8年1月：ふく～るバス利用者数



令和8年2月：ふく～るバス利用者数



(3)新規利用者の獲得状況

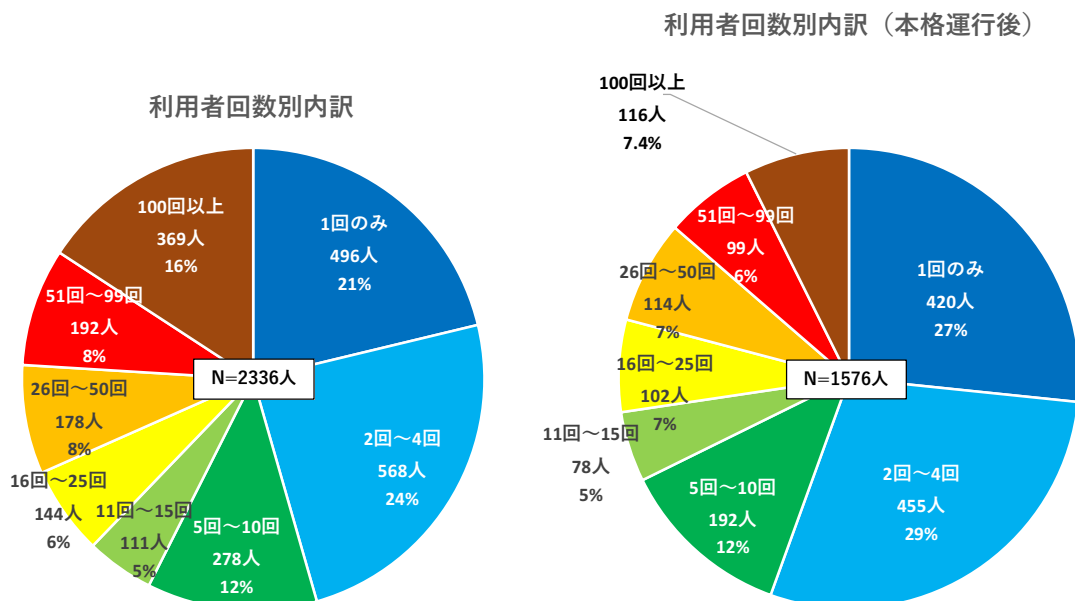
- 現時点での実質利用者は 2,367 人で着実に増加中。
- 令和 5 年度までは一カ月当たり 100～80 人前後の新規利用者を安定的に獲得していたが、令和 6 年度は 50 人前後で推移している。また、令和7年度9月以降は緩やかに減少しており、令和8年 2 月の新規利用者数は 31 人となっている。



注)新規利用者は予約時のログイン名(主に名前)でのカウント

(4)利用回数別の状況

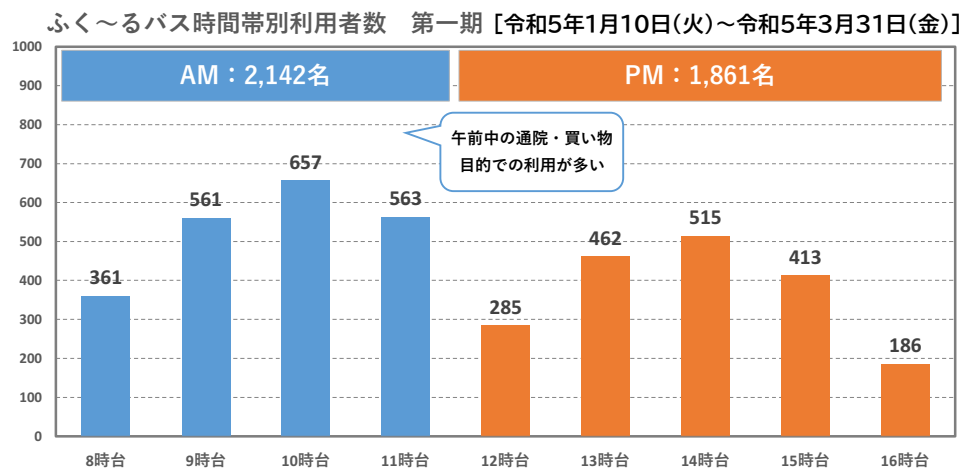
- 運行開始当初からの各利用者の利用回数は 2 回～4 回が約 24%で最も多く、複数回利用が全体の約 8 割を占める。5 回以上の利用が半数以上を占めてきており、11 回以上利用しているユーザーも約 4 割以上見られる。
- 本格運行移行後の 28 カ月間では 2 回～4 回の利用が約 29%で最も多く、次いで 1 回のみ約 27%となっているが、5 回以上利用しているユーザーは 44%を占めている。



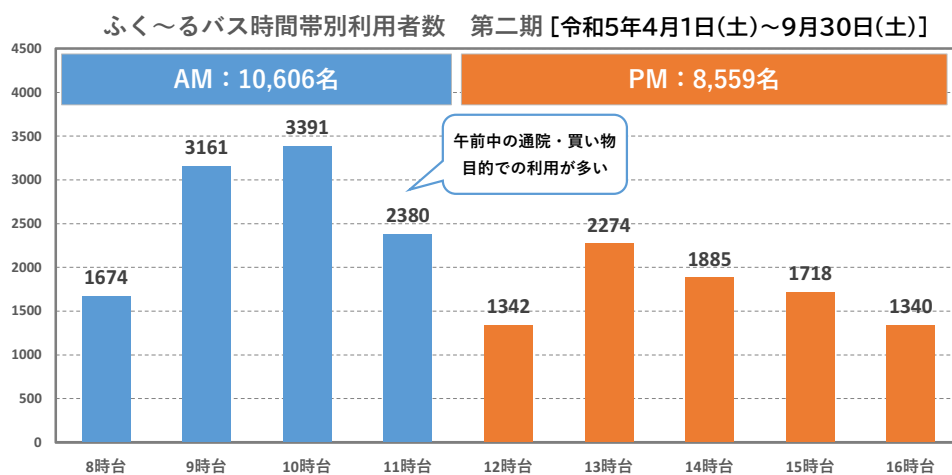
(5)時間帯別利用状況

- 時間帯別利用は、午前中の利用が多い傾向で、9 時台～11 時台の利用が最も多い傾向にある。一方で午後は 13 時台に利用が集中している。実証運行と本格運行で大きな差異は見られない。

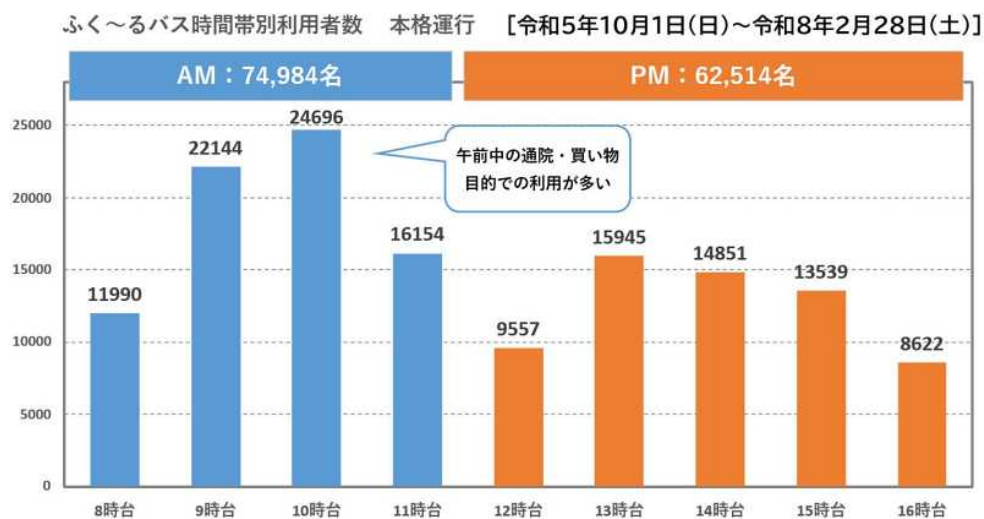
[第一期実証運行]



[第二期実証運行]



[本格運行]



(6)乗降箇所別利用状況

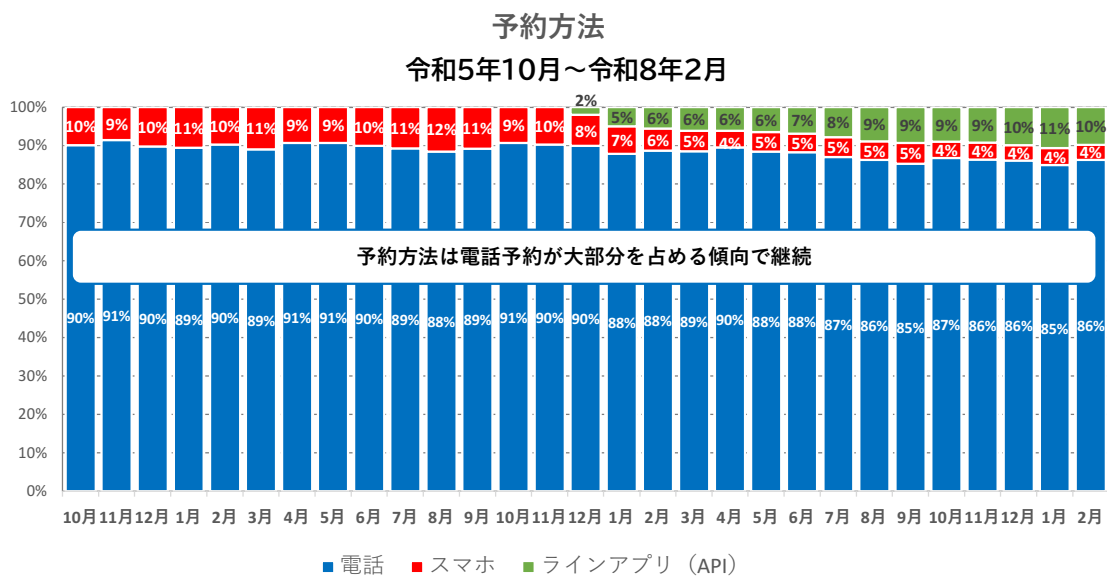
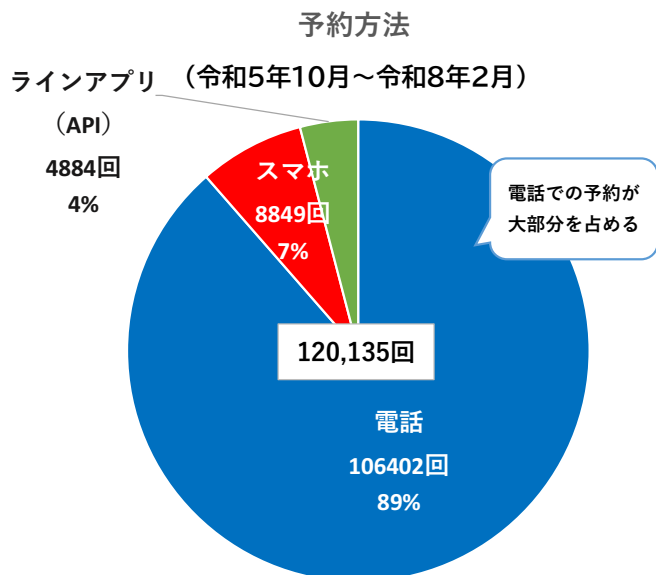
- 乗降地点の上位 30 位の結果として、トライアルでの乗降者数が最も多く、日常の買い物時に利用されている。また、赤池・方城への通院利用、町役場等の公共施設利用、金田駅での鉄道利用、温泉利用など、様々な目的での外出支援への貢献が伺える。

[乗降地点別の利用者数：上位 30 位]

乗車地点	R5.10月以降		降車地点	R5.10月以降	
	利用者数	RANK		利用者数	RANK
トライアル前	12172	1	トライアル前	11791	1
金田駅前	8388	2	金田駅前	7741	2
方城診療所	6618	3	スーパー川食赤池店入口	6375	3
スーパー川食赤池店入口	6503	4	方城診療所	6284	4
たくまクリニック	5605	5	赤池協同医院前	5992	5
赤池協同医院前	5261	6	たくまクリニック	5972	6
福智町役場金田本庁	3556	7	赤池駅前	3408	7
赤池交番前	2909	8	福智町役場金田本庁	3311	8
赤池駅前	2864	9	ドラッグコーエイ田川金田店	2923	9
ドラッグコーエイ田川金田店	2732	10	赤池交番前	2751	10
金田三区公民館前	2500	11	金田三区公民館前	2592	11
赤池団地	2017	12	金田郵便局	1963	12
日王の湯入口	1968	13	伏原団地入口	1852	13
伏原団地入口	1936	14	県営伏原団地前	1767	14
田川慈恵病院	1687	15	田川慈恵病院	1665	15
古門団地交差点	1640	16	ほうじょう温泉	1647	16
ほうじょう温泉	1625	17	日王の湯入口	1600	17
県営伏原団地前	1535	18	金田三区亀ノ甲団地	1549	18
湧淵集会所	1523	19	湧淵集会所	1474	19
金田郵便局	1515	20	野地集会所	1436	20
八幡町停留所	1476	21	赤池郵便局入口	1403	21
高尾教育集会所	1369	22	東ヶ丘集会所	1368	22
金田三区亀ノ甲団地	1363	23	赤池団地	1341	23
中尾（旧赤池商事前）	1312	24	中尾（旧赤池商事前）	1324	24
東ヶ丘集会所	1279	25	古門団地交差点	1301	25
鶴ヶ丘集会所	1254	26	図書館（ふくちのち）	1265	26
大黒団地集会所	1210	27	人見公民館成竹分館	1190	27
昭和町（赤池）	1138	28	後谷停留所	1128	28
板屋団地	1119	29	八幡町停留所	1078	29
若草教育集会所前	1117	30	日吉神社前	1072	30

(7)予約方法

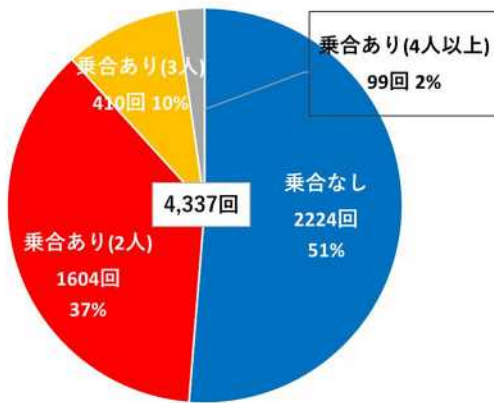
- 利用者の予約方法は、電話予約が約 9 割を占めている。
- 令和 6 年 12 月よりラインアプリの予約(API)が開始され、徐々に利用者が増えてきており、令和7年度 12月からはラインアプリの予約が 10%を超えている。



(8)乗合率

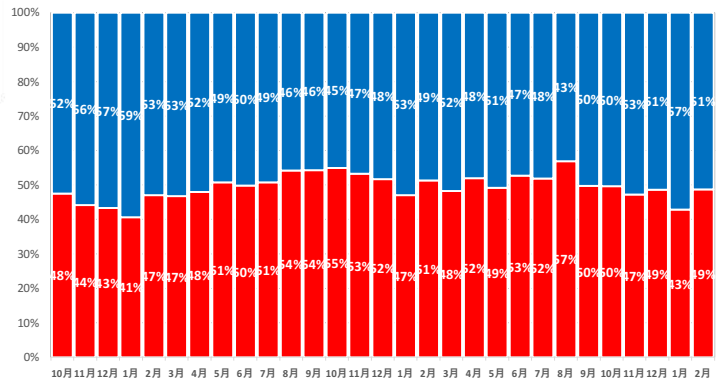
- 予約が重なった際に同一車両で乗合となるケースは、全運行回数のうち約 5 割。運行開始以降の利用者増加を通じて、乗合率も増加傾向にあり、令和 6 年 5 月以降は概ね 50%を超えている。
- 午前中の方が、乗合率が高い傾向にあり、15 時台、16 時台は乗合無しが 6 割を超えている。
- 令和 8 年 2 月の乗合割合は、2 人乗合 37%、3 人乗合 10%、4 人以上乗合 2%となった。
- 乗合人数 2～3 人の割合が約 5 割を占めており、乗合なしを含めると 98%になる。
- 令和 8 年 2 月の最大乗合人数は 6 人であり、車両の最大乗合人数は 10 人のため、今後の乗合率の上昇が課題となる。

令和 8 年 2 月：乗合発生回数割合

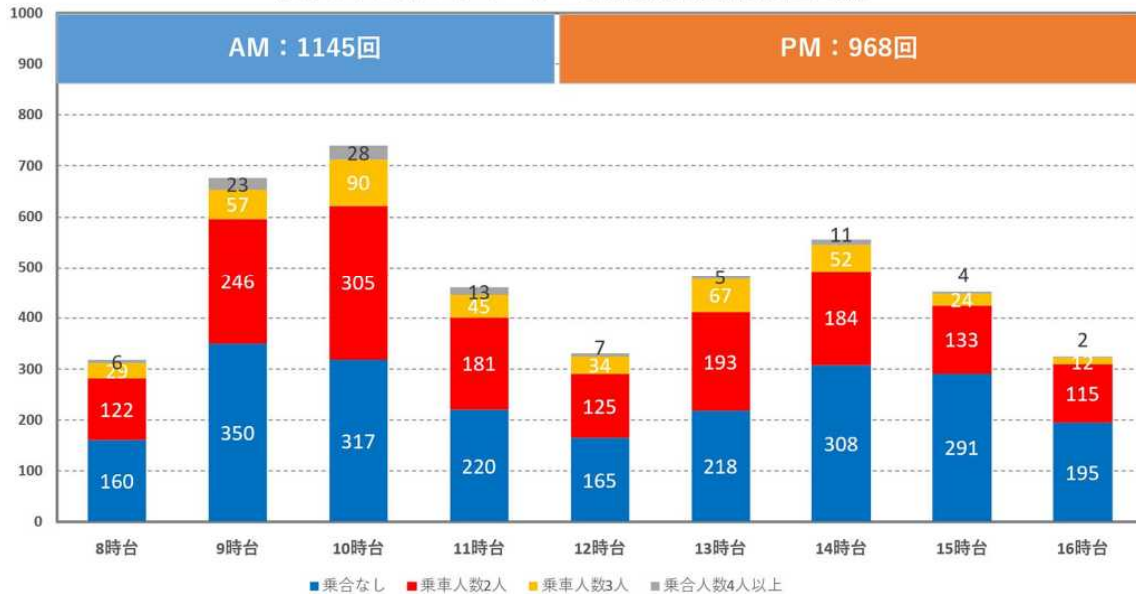


月別乗合率

[令和5年10月1日(日)～令和8年2月28日(土)]

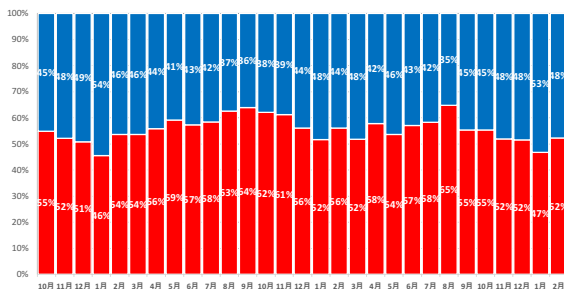


令和 8 年 2 月：ふく～るバス時間帯別乗合発生回数



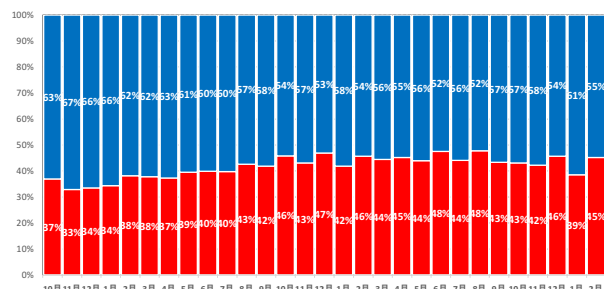
月別 AM 乗合率

[令和5年10月1日(日)～令和8年2月28日(土)]



月別 PM 乗合率

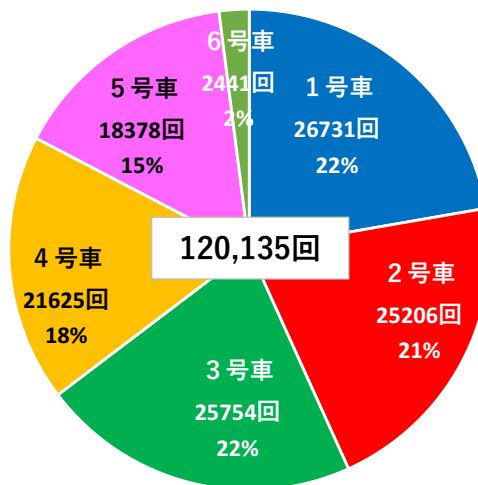
[令和5年10月1日(日)～令和8年2月28日(土)]



(9)車両運用状況

- 車両は6台体制で運用しており、4号車は日祝運休、5号車は土日祝運休、6号車は不定期運行となっている。
- 令和8年2月の車両別運行割合は、1号車21%、2号車21%、3号車20%、4号車18%、5号車14%、6号車6%となっている。毎日運行している1～3号車の乗合割合はいずれもほぼ同水準であり、4号車・5号車・6号車もその順に割合が続いていることから、運行割合は概ね均等に配分されていると考えられる。また、6号車は利用者が多い日程に合わせて不定期で運行している。

車両別運行割合
[令和5年10月1日(日)～令和8年2月28日(土)]

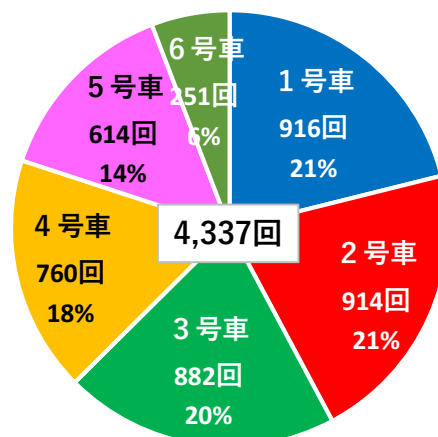


※運行回数のため利用者数合計とは合致しません
 ※4号車は日祝曜運休、5号車は土日運休
 ※令和6年8月より6号車が運行開始（不定期運行）

※2月車両運用

- 1号車:全日、2号車:全日、3号車:全日
- 4号車:日祝運休、5号車:土日祝運休
- 6号車:不定期運行

車両別運行割合（R8.2月）



(10)利用者数と運賃収入

- 本格運行移行後、利用者数の大きな落ち込みはなく、1ヵ月あたり4,000～5,000人で推移している。
- 運賃収入も利用者数と同様に順調な推移となっている。10月以降、利用者一人あたりの平均運賃は徐々に増加してきている。これは高齢者割引以外の一般利用の増加によるものと考えられる。
- 9月には、令和8年度計画目標に掲げた「5万人」を達成した。



[本格運行移行後の月別利用者数と運賃収入]

年月	利用者数	運賃収入	一人あたり運賃
R5.10	4,500人	511,700円	114円/人
R5.11	4,215人	488,300円	116円/人
R5.12	4,048人	475,700円	118円/人
R6.1	3,617人	433,000円	120円/人
R6.2	4,311人	518,600円	120円/人
R6.3	4,607人	573,200円	124円/人
R6.4	4,646人	525,300円	113円/人
R6.5	4,538人	535,300円	118円/人
R6.6	4,762人	562,400円	118円/人
R6.7	4,885人	576,900円	118円/人
R6.8	4,351人	534,300円	123円/人
R6.9	4,919人	601,800円	122円/人
R6.10	5,272人	634,800円	120円/人
R6.11	4,925人	597,500円	121円/人
R6.12	5,098人	584,200円	115円/人
R7.1	4,034人	491,200円	122円/人
R7.2	4,029人	496,600円	122円/人
R7.3	4,834人	589,600円	122円/人
R7.4	5,076人	611,100円	120円/人
R7.5	4,807人	576,100円	120円/人
R7.6	5,088人	609,600円	120円/人
R7.7	5,506人	665,500円	121円/人
R7.8	4,812人	596,500円	124円/人
R7.9	5,148人	626,200円	122円/人
R7.10	5,784人	704,200円	122円/人
R7.11	5,249人	633,200円	121円/人
R7.12	5,397人	647,600円	120円/人
R8.1	4,392人	530,900円	121円/人
R8.2	4,819人	579,500円	120円/人

各種アンケート調査による計画達成状況報告

ふく～るバスの利用状況、満足度評価、公共交通の利用率、意見・要望の把握などを目的に住民及び利用者アンケート調査を実施した。来年度、福智町公共交通計画の見直しになるため、計画目標値の達成状況を確認した。

【各種調査】

(1) 利用者アンケート

利用者アンケート調査概要	
調査対象	ふく～るバス利用者
調査配布数/回収数	200 部/127 票
回収率	63.5%
調査方法	運転手による調査票配布。郵送での返信、ふく～るバス利用時の手渡し、福智町役場への持参、二次元コードからの回答によって回収。
調査内容	ふく～るバスの利用状況、評価、意見・要望の把握。
調査時期	令和 8 年 1 月 28 日 (水) ～2 月 9 日 (月)

(2) 住民アンケート

住民アンケート調査概要	
調査対象	広報ふくち配布世帯
調査配布数/回収数	9,696 世帯/2,027 票
回収率	20.9%
調査方法	広報 1 月号と同時に配布。回収方法は、郵送または Web 回答方式により実施。
調査内容	ふく～るバスの利用状況、満足度評価、公共交通の利用率、公共交通への公的資金投入に対する理解度、意見・要望の把握。
調査時期	令和 8 年 1 月広報配布～令和 8 年 1 月 27 日 (火)

【計画目標達成状況】

(1) 独自指標① 住民の公共交通利用率

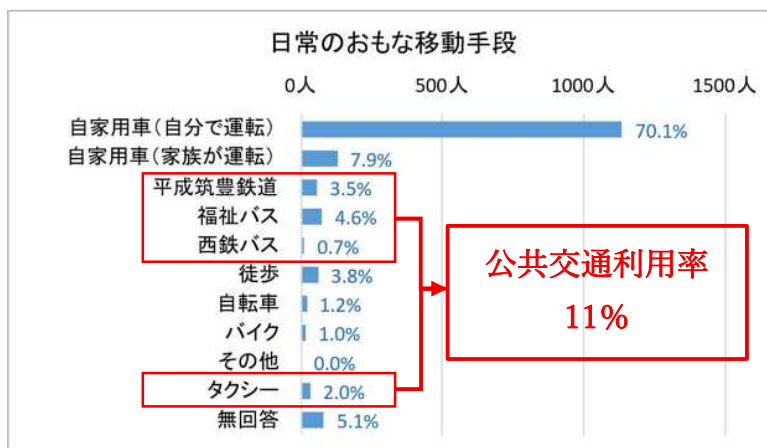
減少傾向にあった福祉バス利用者の維持及び西鉄バス廃止後の利用者増を考慮し設定。

データ取得方法：住民アンケートにより、計画中間期及び最終期に計測。

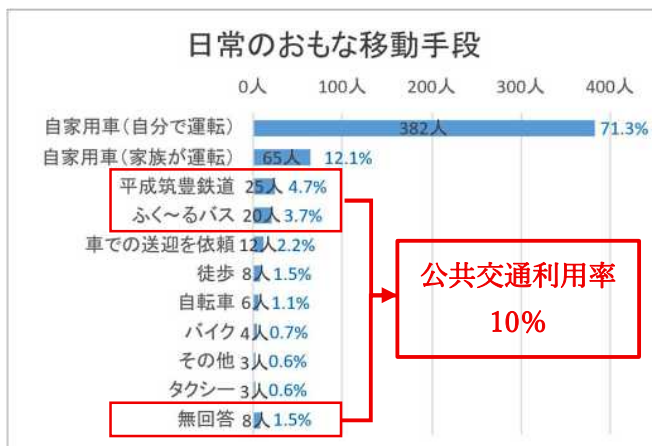
考察：ふく～るバスの本格運行後、住民の公共交通利用率は18%となり、目標値を6%上回る結果となった。これは、本格運行前から運行事業者である社会福祉協議会と福智町が連携し、継続的に周知活動を行ってきたことに加え、導入後もアンケート調査を通じて停留所の追加やダイヤの調整など、細かな改善を積み重ねてきた成果であると考えられる。

住民の公共交通利用率			
当初値 (令和2年度)	中間検証 (令和6年度)	最終値 (令和7年度)	目標値
11% (令和2年度福祉バス 利用者アンケート)	10%	18%	12%

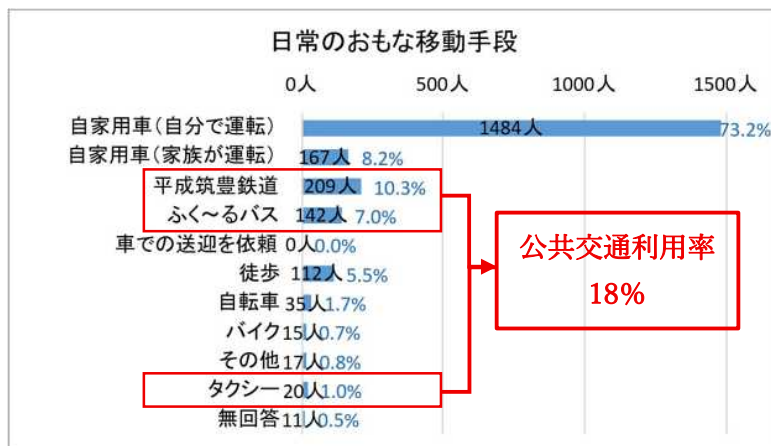
令和2年度
住民の公共交通利用率



令和6年度
住民の公共交通利用率



令和7年度
住民の公共交通利用率



(2) 独自指標② 町内公共交通の利用頻度

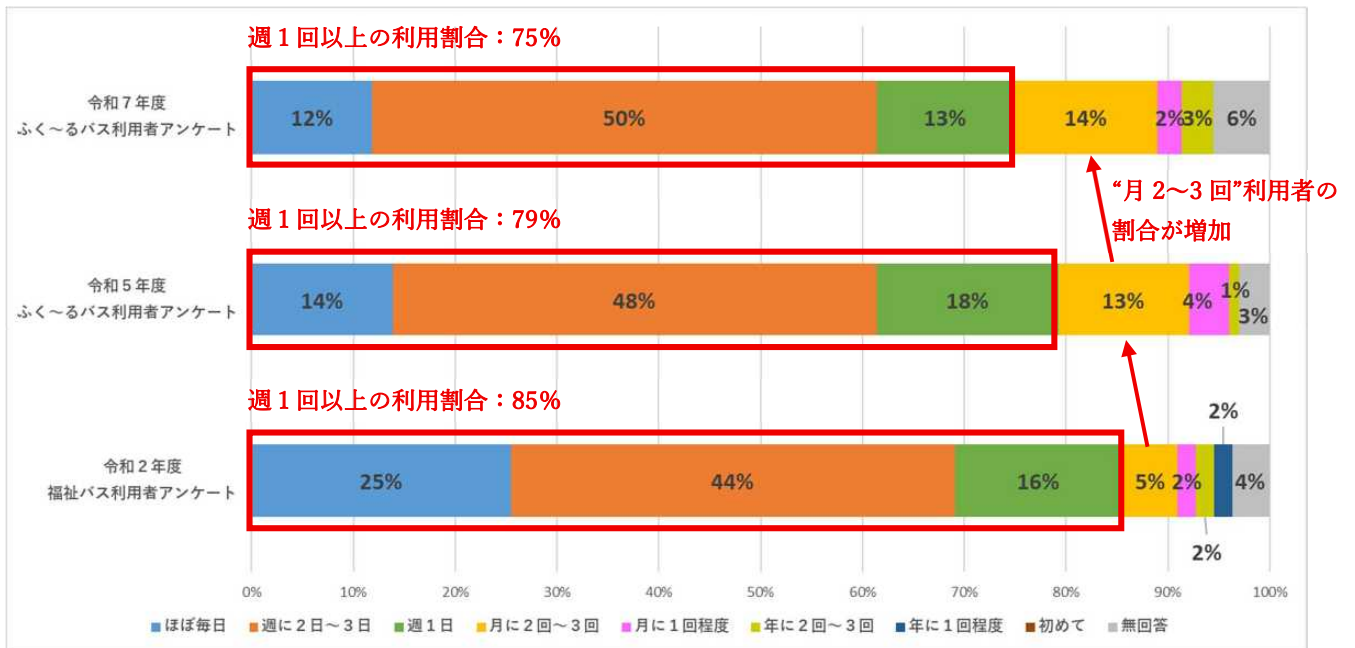
ふく～るバス利用者アンケート調査「利用頻度」のうち“週1回以上”を回答した人の割合とし、今後の高齢者への丁寧な説明、利用促進活動の結果、町内公共交通の利用頻度の現状維持を設定。

データ取得方法：ふく～るバス利用者アンケート調査により、計画中間期及び最終期に計測。

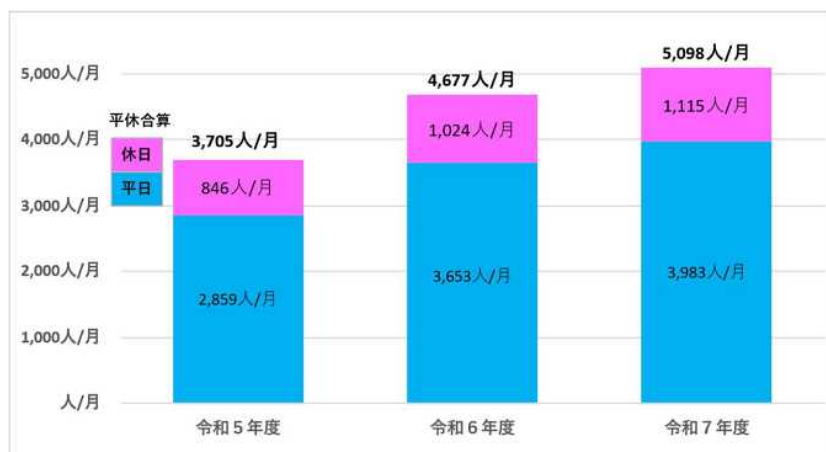
考察：ふく～るバスの利用者アンケートの結果から、利用頻度は目標値より10%低い結果となった。ただし利用者数は増加傾向にあり、今回のアンケートで、「週1回未満」利用者の半数以上が送迎を頼める手段があってもふく～るバスを利用していることが分かった。これは、幅広い利用により、週1回未満利用者が増加し、結果として「週1回以上利用」の割合が相対的に低下したと考えられる。

町内公共交通の利用頻度			
当初値 (令和2年度)	中間検証 (令和6年度)	最終値 (令和7年度)	目標値
85% (令和2年度福祉バス利用者アンケート)	79%	75%	85%

福祉バス・ふく～るバスの利用頻度



ふく～るバスの1カ月あたり利用者数



(3) 独自指標③ 公共交通への公的資金投入に対する理解度

住民アンケート調査により、公共交通維持のための公的資金投入について“知っている”や“公的資金投入に賛同する”と回答する人の割合とし、現状値は取得していないため、中間評価時点（令和5年度）の数値向上を設定。

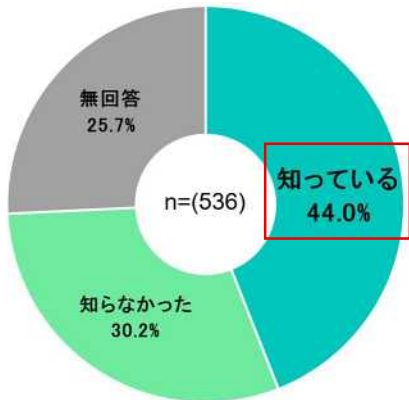
データ取得方法：住民アンケート調査により、計画中間期及び最終期に計測。

考察：公共交通への公的資金投入に対して、“知っている”や“公的資金投入に賛同する”と答えた人はそれぞれ増加しており、目標値としていた令和5年度結果からの向上は達成できたと考える。これは、公共交通の現状等を町や運行事業者である社会福祉協議会が継続的に広報活動をしてきた結果であると考えられる。

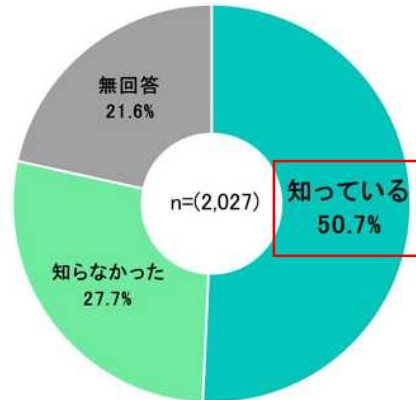
公共交通への公的資金投入について知っている人の割合			
当初値 (なし)	中間検証 (令和6年度)	最終値 (令和7年度)	目標値
- %	44%	51%	令和5年度結果の向上

公共交通への公的資金投入に賛同する人の割合			
当初値 (なし)	中間検証 (令和6年度)	最終値 (令和7年度)	目標値
- %	82%	85%	令和5年度結果の向上

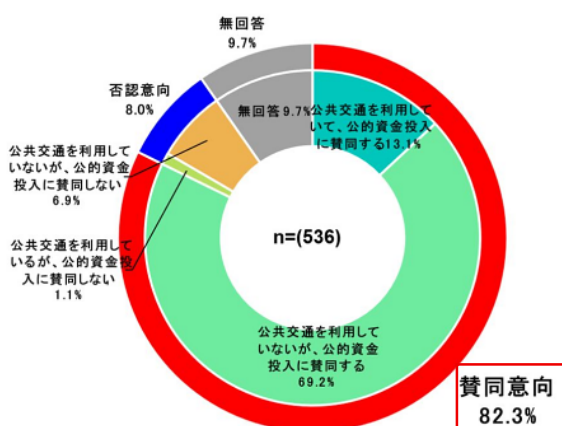
令和6年度
公的資金の状況把握



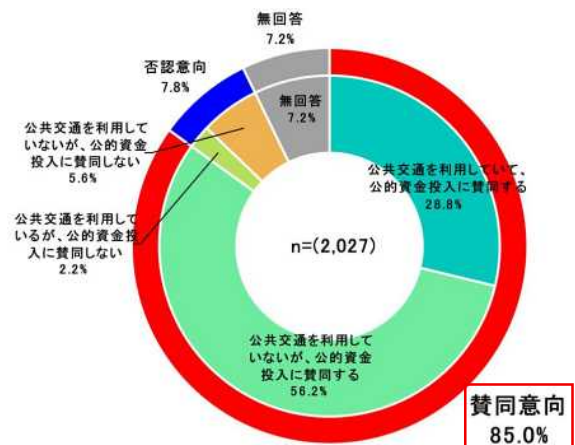
令和7年度
公的資金の状況把握



令和6年度
公的資金の賛否意向



令和7年度
公的資金の賛否意向



令和8年度 福智町地域公共交通会議事業計画（案）

	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングポイント（乗降箇所）の検討（通年） ・車両発注
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ふく～るバス利用説明会（通年）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 福智町地域公共交通会議決算監査 ・令和8年度 第1回福智町地域公共交通会議 開催 計画策定に係る議題 ⇒地域概況、アンケート結果について報告 ⇒現計画の最終評価 ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 計画認定申請 提出
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係者意見交換
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 第2回福智町地域公共交通会議 開催 ⇒ヒアリング結果の報告 ⇒計画の方針・将来像について協議 ・広報・周知活動（～随時） ・利用者向け広報支援
10月	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 交付申請 提出
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 第3回福智町地域公共交通会議 開催 ⇒地域公共交通計画（素案）について協議
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 自己評価 提出 ・車両納品
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 第4回福智町地域公共交通会議 開催 ⇒地域公共交通計画（案）について協議

令和8年度 福智町地域公共交通会議予算（案）

1. 収入

（単位：千円）

科 目	本年度予算	前年度予算	前年比	説 明
負担金	66,969	60,860	6,109	
負担金	66,969	60,860	6,109	福智町地域公共交通会議負担金 66,969,000円
補助金	8,000	8,768	△ 768	
事業費補助金	8,000	8,768	△ 768	令和9年度事業（地域内フィーダー系統補助） 3,000,000円 令和8年度事業（地域内フィーダー系統補助） 車両購入費（2台分） 5,000,000円
繰越金	12,800	2,880	9,920	
繰越金	12,800	2,880	9,920	前年度繰越金 1,200,000円 前年度繰越金（車両購入・改造・ラッピング費） 11,600,000円
諸収入	6,001	6,001	0	
雑入	6,001	6,001	0	預金利息等 100円 運賃収入（月/500,000円×12か月） 6,000,000円
合 計	93,770	78,509	15,261	

2. 支出

（単位：千円）

科 目	本年度予算	前年度予算	前年比	説 明
運営費	355	355	0	
会議費	355	355	0	
報酬	306	306	0	委員報酬 委員（交通会議） 4,500円×16人×3回＝ 216,000円 幹事（幹事会） 4,500円×5人×4回＝ 90,000円
旅費	33	33	0	費用弁償 福岡市（交通会議） 4,560円×2人×3回＝ 27,360円 田川市（交通会議） 330円×3人×3回＝ 2,970円 田川市（幹事会） 330円×2人×4回＝ 2,640円
役務費	16	16	0	郵便切手代 110円×60枚＝ 6,600円 郵便切手代 140円×60枚＝ 8,400円 報酬・旅費金種指定支払手数料 880円×1回＝ 880円
事業費	84,336	72,503	11,833	
事業費	84,336	72,503	11,833	
需用費	0	0	0	
役務費	36	36	0	口座振込手数料 880円×40回＝ 35,200円
委託料	71,594	59,981	11,613	福智町AⅠオンデマンドバス運行費（社協） 57,200,000円 ミーティングポイント撤去改修 400,000円 呼出電話費用 250,000円 福智町地域公共交通計画策定支援業務 9,900,000円 LINE連携アプリ保守（駅探） 2,244,000円 車両の改造・ラッピング費 1,600,000円
使用料	2,706	2,486	220	福智町AⅠオンデマンドバス本格運行システム料（未来シェア） 2,706,000円
備品購入費	10,000	10,000	0	車両購入費（購入2台） 10,000,000円
償還金	償還金	償還金	償還金	
償還金	5,000	0	5,000	令和8年度事業（地域内フィーダー系統補助）車両購入費申請に伴う福智町地域公共交通会議負担金返還金 5,000,000円
予備費	予備費	予備費	予備費	
予備費	4,079	5,651	△ 1,572	予備費 4,079,000円
合 計	93,770	78,509	15,261	

地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請書（案）について

1. 変更理由

車両取得について「該当なし」で申請していたが、AI オンデマンド交通「ふく～るバス」運行車両の老朽化の進行により、持続的な安全な運行のため車両の取得が求められる。

2. 変更箇所

11. 車両の取得に係る目的・必要性
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額

※詳細は次頁

なお、本申請の変更手続きで生じる軽微な修正にあたっては事務局一任としたい

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 福智町地域公共交通会議
住 所 福岡県田川郡福智町金田 937 番地 2
代表者氏名 会長 竹下 靖

地域公共交通計画変更認定申請書
(案)

令和 7 年 9 月 25 日付け国総地第 1 4 4 号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を別紙のとおり変更したいので、関係書類を添えて申請します。

○ 変更日

令和 9 年 1 月 15 日

○ 変更箇所

11. 車両の取得に係る目的・必要性
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
13. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額

○ 変更理由

車両取得について「該当なし」で申請していたが、AI オンデマンド交通「ふく～るバス」運行車両の老朽化の進行により、持続的な安全な運行のため車両の取得が求められる。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

福智町地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>[必要性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福智町の総人口は令和2年国勢調査で約2.1万人であり、今後も人口減少と少子高齢化が進むことが予測されている。人口分布は町中央の平野部から中山間地域に幅広く分散し、公共施設をはじめとした主要施設も同様に金田本庁、赤池支所、方城支所の周辺に分散して立地している。そのため、町の公共交通は、町内に分散する居住地と目的地とを効率的に結ぶサービスが求められている。 ・ 町では、令和3年6月に「福智町地域公共交通計画」を策定し、現在では、町外移動を平成筑豊鉄道、西鉄バスが担い、町内移動はAIオンデマンド交通「ふく～るバス」（令和5年10月から本格運行へ移行）が担い、町内外の移動をタクシーが補完している状況となっている。 ・ また「ふく～るバス」は、導入検討時にはコロナ禍の影響もあり、西鉄バス（金田・方城線）廃止など既存事業者の参画が厳しい中、社会福祉協議会との協議の結果、自家用有償旅客運送によって福智町が運営主体、社会福祉協議会が運行主体としてサービスを提供している。 ・ 令和5年10月の本格運行（有償化）以降、無償実証運行時と大きく利用者数は変わることなく、概ね1カ月あたり4千人超に利用されている。そのため、今後も平成筑豊鉄道、西鉄バス、ふく～るバス、タクシーの役割分担のもと、住民や来訪者の移動手段の確保に努めることが求められている。 <p>[目的]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町では、福智町地域公共交通計画に基づき、計画に掲げている基本理念「住みたい、住み続けたいまちづくりに寄与する公共交通の展開」を実現するため、広域幹線を平成筑豊鉄道、西鉄バスと位置付け、地域内フィーダー系統をふく～るバス、それぞれを補完するタクシーの役割分担のもと、持続可能な公共交通の取組を進めていくことを目的とする。
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
<ul style="list-style-type: none"> ◆指標①：町内公共交通の利用者数 令和6年度：37,000人 令和7年度：43,500人 令和8年度：50,000人（計画最終年度） ◆指標②：公共交通の収支率 令和6年度：19% 令和7年度：22% 令和8年度：25%（計画最終年度） ◆指標③：公共交通への福智町財政負担額 令和6年度：30,000千円 令和7年度：27,500千円 令和8年度：25,000千円（計画最終年度）
(2) 事業の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ふく～るバス」による町内移動の利便性向上、交通空白地域の解消 ・ タクシー利用促進による交通弱者の町内外移動の確保及び町内交通事業者の役割分担、補完し合う運行サービスの実現 ・ 自家用有償旅客運送及び国庫補助活用による福智町財政負担の抑制

<p>3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ A I オンデマンド交通「ふく～るバス」運行 (自家用有償旅客運送：福智町、運行者：福智町社会福祉協議会) ◆ タクシー利用促進事業 (田川構内自動車) ◆ 鉄道・西鉄バス・タクシー・A I オンデマンド交通の周知広報 (福智町) ◆ A I オンデマンド交通の利用環境整備 (福智町)
<p>4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者</p>
<p>地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運行時刻：8時30分～17時 運行期間：毎日（年末年始及びGW期間を除く） ② 決定経緯：福智町地域公共交通会議（令和6年5月21日開催）にて了承。 ③ 補足説明：A I オンデマンド交通は事前予約型区域運行とし、乗降場所については、タクシー事業との差別化の観点からミーティングポイント方式を採用。乗降場所には平成筑豊鉄道駅が含まれ、A I オンデマンドの特徴である到着時刻指定での利用により鉄道乗継が可能となる。
<p>5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額</p>
<p>地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図るA I オンデマンド交通は、その運行に係る費用総額約50,000千円のうち、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を福智町が負担する。</p>
<p>6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法</p>
<p>利用者数や収支については、運行実績によるモニタリング・評価を実施 なお、計画中間年度として令和6年度に町民アンケートなどの調査、事業検証を実施 また、計画最終年度（令和8年度）には町民アンケートにより、「町民の公共交通利用率、利用頻度、公的資金投入に対する理解度」の検証を行う予定。</p>
<p>7. 別表1の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>該当なし</p>
<p>8. 別表1の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>該当なし</p>
<p>9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】</p>
<p>該当なし</p>

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
表5を添付
11. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
AI オンデマンド交通「ふく～るバス」運行車両の老朽化の進行により、安全な運行を確保するために車両を2台購入する必要がある。
12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
ふく～るバス利用者の「総合的な評価」の満足意向を60%以上とする。 (令和8年1月実施の利用者アンケートでの満足意向60%)
(2) 事業の効果
ふく～るバスの運行車両は、ふく～るバスが運行する以前の福祉バスから運行している車両があり、老朽化が進行している。 車両の入れ替えによる利用者からの運行車両への満足度向上。また、車両入替の機にラッピングを行い、ラッピング車両を増台することで、ふく～るバス広報の満足度向上の効果等があると考え、ふく～るバスへの総合的な評価上昇の効果が期待できる。
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
表10を添付。 なお、地域公共交通確保維持事業によって運行を維持するふく～るバスの車両取得について、購入総額のうち国庫補助金を差し引いた差額は福智町が負担することとしている。
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし

17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18. 協議会の開催状況と主な議論

- ◆令和3年度
 - 第2回協議会（6月）
福智町地域公共交通計画策定
- ◆令和4年度
 - 第1回協議会（7月）
A I オンデマンド実証運行実施に関する再編事業計画の承諾
 - 第2回協議会（3月）
A I オンデマンド実証運行状況の報告
A I オンデマンド実証運行継続及び本格運行移行に関する協議
- ◆令和5年度
 - 第1回協議会（6月）
自家用有償旅客運送及び本格運行移行および地域内フィーダー系統に関する協議
 - 第2回協議会（8月）
自家用有償旅客運送登録申請に関する協議
 - 第3回協議会（3月）
ふく～るバス運行実績報告、福智町地域公共交通計画見直しに関する協議
- ◆令和6年度
 - 第1回協議会（5月）
地域内フィーダー系統に関する協議
 - 第2回協議会（11月）
ふく～るバス運行実績報告、町民・利用者アンケート調査概要に関する協議
 - 第3回協議会（1月）
令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に関する協議
 - 第4回協議会（3月）
ふく～るバス運行実績報告、来年度事業内容の協議
フィーダー系統補助に係る「地域公共交通計画認定申請書」変更に関する協議
- ◆令和7年度
 - 第1回協議会（6月）
自家用有償旅客運送登録の更新に関する協議
地域内フィーダー系統に関する協議
 - 第2回協議会（11月）
令和7年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価に関する協議
地域内フィーダー系統申請の変更（区域の変更）に関する協議
 - 第3回協議会（3月）
ふく～るバス運行実績報告、事業評価に関する協議
フィーダー系統補助に係る「地域公共交通計画認定申請書」変更に関する協議

19. 利用者等の意見の反映状況

- ◆ 令和元年度には、地域公共交通計画策定検討に先立ち、全世帯（7,000世帯）向けのアンケート調査を実施。また、福祉バス利用者に対する要望・意向調査を実施。
→町民の大部分が車利用であり、公共交通は交通弱者に限られている現状を把握。
→福祉バス利用者は利便性向上と合わせた有償化へ85%が賛同。
- ◆ 令和4年度には、A I オンデマンド実証運行期間中の3月にA I オンデマンド利用者向けのアンケート調査、福祉バス利用者への意向調査を実施。
→A I オンデマンド利用者の8割以上がサービスに満足と回答。運行継続をほぼ全ての方が望み、有償化への移行は9割が賛同。
- ◆ 令和4年度には、A I オンデマンド実証運行期間中の3月に「社会福祉協議会」運転手及びオペレーター、職員向けのアンケート調査を実施。
→運転手及びオペレーターに運用上の大きな混乱はなく、取組についても高評価。
- ◆ 令和6年度には、計画中間期として12～1月に「町民」「ふく～るバス利用者」「事業者意向」向けのアンケート調査を実施。
→各種アンケートより、計画で定めた指標「町民の公共交通利用率」、「町内公共交通の利用頻度」、「公共交通への公的資金投入に対する理解度」について検証を行った。検証結果をふまえ、計画最終期に向けて、令和7年度事業でさらなる利用促進や運行効率化、運行負担軽減に係るAIシステムの調整などに取組むこととしている。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 福岡県田川郡福智町金田 937 番地 2

(所 属) 福智町役場 企画振興課

(氏 名) 石川 真由美

(電 話) 0947-22-7766

(e-mail) fg0500@town.fukuchi.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表10 車両の取得計画の概要(自家用有償に係る車両購入)(地域内フィーダー系統)

○車両の取得

市区町村名	運送予定者名	申請 番号	運行の用に供する 補助対象系統名 (申請番号)	補助対象車両の種別	乗車 定員	購入 年月
福智町	福智町社会福祉協議会	1	(1) ふく～るバス	普通自動車	10人	R9.1
	福智町社会福祉協議会	2	(2) ふく～るバス	普通自動車	10人	R9.1
		3	()			
		4	()			
		5	()			

○講習の受講(車両を取得し、講習を受講する場合のみ)

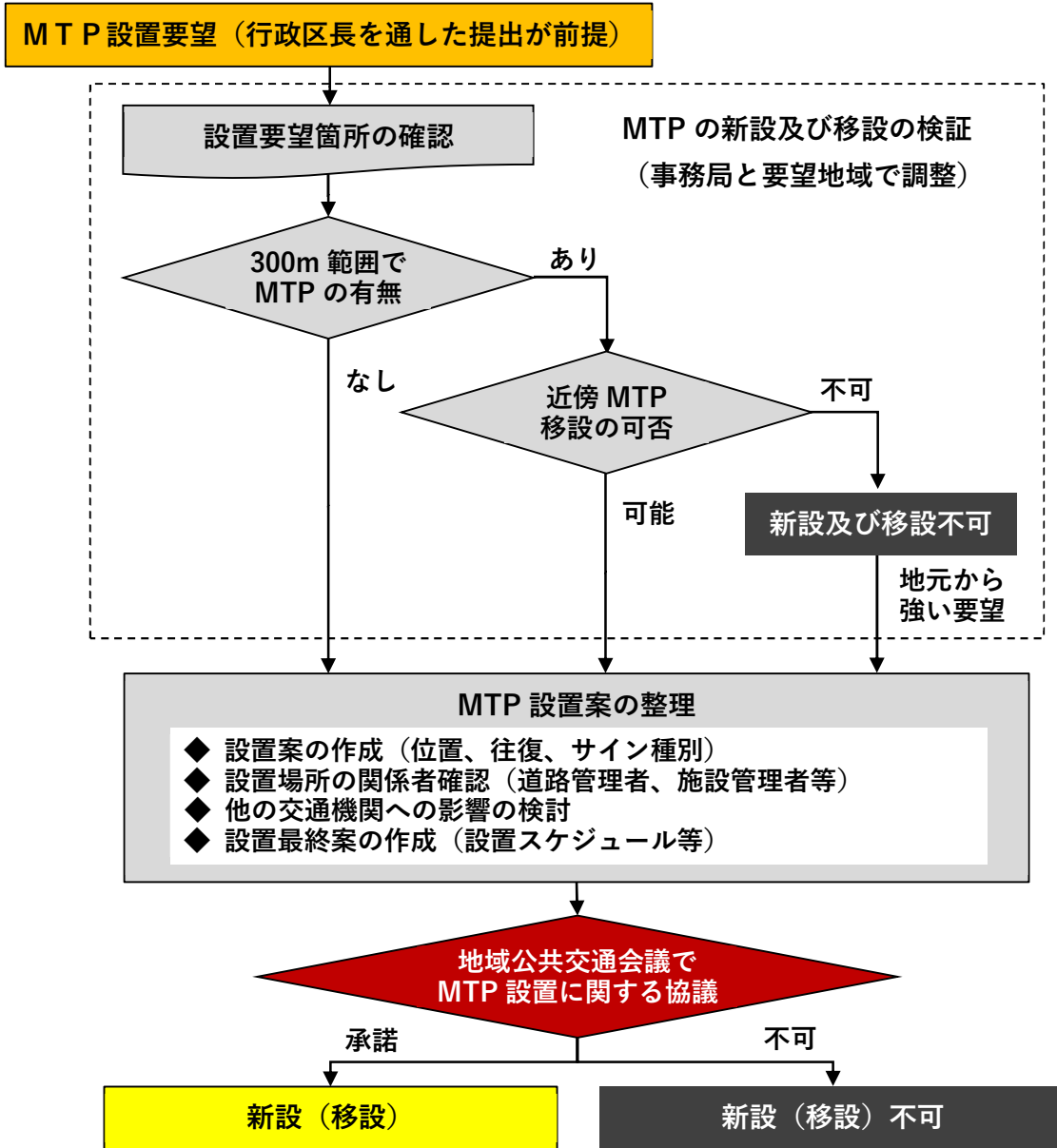
受講予定者数	
--------	--

- (注)
1. 「補助対象車両の種別」については、小型自動車、軽自動車又は普通自動車の別を記載すること。(道路運送車両法施行規則 別表第一)
 2. 「乗車定員」については、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。
なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両保安基準第24条、第53条)。
 3. 「購入年月」については、初年度の場合は購入予定年月を記載すること。

ふく～るバス ミーティングポイント（MTP）追加要望の審議について

1. MTP 設置要望の際の検討の流れ

令和7年度第2回福智間地域公共交通会議では、以下のフロー図を用いて今後 MTP の設置要望を地域公共交通会議で協議することが承諾された。



検討要望箇所

➢ 今回、以下の6箇所に対して MTP の設置要望がある。また、以下の検討要望箇所についての協議事項を次頁以降にまとめている。

No	要望地区	要望箇所
①	伊方地区	方城17区野添
②	上野地区	徳市団地前
③	金田地区	上金田地区①
④	金田地区	上金田地区②
⑤	金田地区	上金田地区③
⑥	金田地区	平原地区

ふく～るバスMTP設置検討(検討箇所その①)

MTP名称	方城17区野添(仮)(伊方地区からの要望)		
位置図			
現地写真			

条件整理			
要望内容	MTPが密集している地区のため「野添下三叉路」を要望箇所へ移設を希望		
300m範囲でのMTPの有無	有	近接MTP移設の可否	可
協議内容			
要望地区との協議	要望地区と協議し、移設要望位置で同意済み。		
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済み。 運行事業者と協議を行い、確認済み。		
提案内容			
提案内容	移設先であるMTP付近の住民については、現時点でも300m以内にMTPが位置しているものの、実際には300m弱の移動が必要となっている。近接して配置されているMTPが複数存在するため、新たなMTPの設置は困難である。また、移設先は住居が多く、現存のMTPは交差点付近で乗降する場合、多少危険な場所であったため、「野添下三叉路」の移設を提案。		
備考			

ふく～るバスMTP設置検討(検討箇所その②)

MTP名称	徳市団地前(仮)(上野地区からの要望)		
位置図			
現地写真			

条件整理

要望内容	上野保育所・徳市団地付近にMTPがないため要望箇所へ新設を希望(事務局提案)		
300m範囲でのMTPの有無	無	近接MTP移設の可否	—

協議内容

要望地区との協議	長年バイパス付近・団地の住民より要望。近隣地区と協議し、新設要望位置で同意済み。
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済み。 運行事業者と協議を行い、確認済み。 (上野保育所付近は園児の送迎もあり事故の危険性もあるため、徳市団地付近での設置が望ましい。)

提案内容

提案内容	MTPが300m以内に存在していないため、住居密度の高い上記の要望箇所への新設を提案する。
------	---

備考	
----	--

ふく～るバスMTP設置検討(検討箇所その③)

MTP名称	上金田地区①(仮)(金田地区からの要望)		
位置図			
現地写真			
条件整理			
要望内容	「上金田集会所前」を、住居が多い地域である要望箇所へ移設を希望		
300m範囲でのMTPの有無	有	近接MTP移設の可否	可
協議内容			
要望地区との協議	要望地区とは協議を行い、移設要望位置で同意済み。		
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済み。 運行事業者と協議を行い、確認済み。		
提案内容			
提案内容	移転先のそよ風保育園付近は300m以内にMTPが存在していない。移転先は高台になっており、利便性はよいため、要望箇所への移設を提案する。		
備考			

ふく〜るバスMTP設置検討(検討箇所その④)

MTP名称	上金田地区②(仮)(金田地区からの要望)		
位置図			
現地写真			

条件整理

要望内容	地区の住民から最寄りにMTPがないため、要望箇所へ新設を希望		
300m範囲でのMTPの有無	有	近接MTP移設の可否	不可

協議内容

要望地区との協議	要望地区とは新設要望箇所で現場立会済。		
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済。 車道の幅が狭く、乗降時に対向車が来た場合、通行することができず安全とは言い切れない。 運行事業者と協議を行ったが、乗降については困難との回答。		

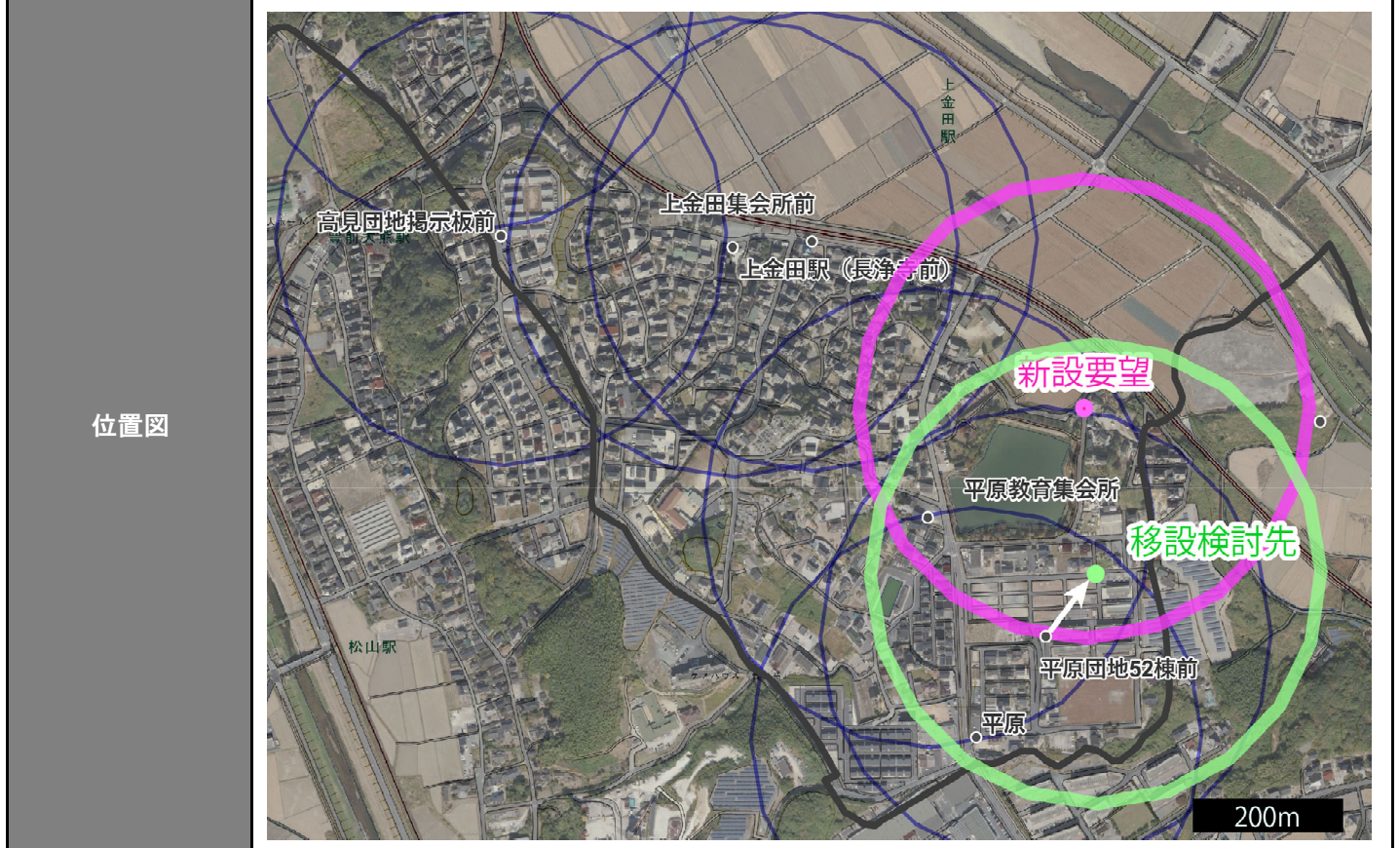
提案内容

提案内容	車道の幅による安全上の問題がある為、設置不可を提案。		
------	----------------------------	--	--

備考	ただし、地区の強い要望また住居の密度や周辺の高低を考察し、今後、近隣のMTPの移設を検討していく。		
----	---	--	--

ふく～るバスMTP設置検討(検討箇所その⑤)

MTP名称	上金田地区③(仮)(金田地区からの要望)
-------	----------------------



条件整理

要望内容	団地住民から最寄りにMTPがないため、要望箇所へ新設を希望		
300m範囲でのMTPの有無	有	近接MTP移設の可否	不可

協議内容

要望地区との協議	要望地区とは協議を行い、新設要望位置で現地確認。
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済み。 運行事業者と協議を行い、確認済み。

提案内容

提案内容	300m範囲内にMTPがあり、高低差も少ない。また、限定的な集落の利用の為公共性は低いため、設置不可であるが、地区からの強い要望があるため、利便性を考慮し、今後、近隣のMTPである「平原団地52棟前」の移設にて対応する。
------	--

備考	
----	--

ふく～るバスMTP設置検討(設置箇所その⑥)

MTP名称	平原地区(仮)(金田地区からの要望)		
位置図			
現地写真			

条件整理

要望内容	地区の住民から最寄りにMTPがないため、要望箇所へ新設を希望		
300m範囲でのMTPの有無	有	近接MTP移設の可否	不可

協議内容

要望地区との協議	要望地区とは協議を行い、新設要望位置で同意済み。		
関係者との協議	警察と協議を行い、確認済み。 運行事業者と協議を行い、確認済み。		

提案内容

提案内容	近接するMTPである「平原」は既利用者にとって、目的地として必要不可欠であり「平原」の移設は困難である。また、「平原」前の町道は交通量が多く、坂道の頂上付近の横断歩道は見通しが悪いため 人身事故も発生しており、要望箇所への新設を提案する。		
------	---	--	--

備考			
----	--	--	--